

No. 195 会報誌「ソフィアーズナウ」 Spring 2024

Sophians Now



今年も四谷に春がやってきました。
皆さんお元気ですか！

上智大学ソフィア会 〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1 TEL: 03-3238-3041 FAX: 03-3238-3028
SOPHIA UNIVERSITY ALUMNI ASSOCIATION 7-1 Kioi-cho, Chiyoda-ku, Tokyo, 102-8554 Japan
ソフィア会Webサイト <https://www.sophiakai.gr.jp/> E-mail: info@sophiakai.gr.jp

発行/上智大学ソフィア会
発行人/鳥居正男 編集/上智大学ソフィア会広報委員会
発行日/2024年4月25日

第3回地域ソフィア会代表者会議 開催報告

3月2日（土）に1年半ぶりに第3回地域ソフィア会代表者会議が四谷キャンパスで開催されました。今回は、大学から曄道佳明学長、大塚寿郎総務担当理事、中村史子ソフィア連携室長を来賓にお迎えし、地域ソフィア会42団体の代表者とソフィア会から鳥居正男会長をはじめ常任委員、組織委員等15人が加わり、総勢60人の会となりました。

ご来賓からのご挨拶に続き、事前アンケートの集計結果について川崎晴夫組織委員長から説明があり、各地域ソフィア会の活動実態と課題が示されました。事例紹介としては、千曲川ソフィア会中村事務局長が事務効率化による若手の掘り起こしと世代交代の成果、香川ソフィア会元山副会長が四国4県合同での第1回四国ソフィア会開催の経緯を発表。

会議後半では、「コロナ後の活動再起動と魅力ある行事」「若手の参画と世代交代」「新

規会員獲得方法とコミュニケーションツール」「近隣ソフィア会との連携」という4つのテーマ別に分かれて活発なグループ討議が行われ、その結果発表、川崎組織委員長から総括、鳥居会長から全体講評と続き、会議は無事閉会となりました。

その後の懇親会は、第13回地域ソフィア会全国大会盛岡大会のホスト、岩手ソフィア会の平野会長の挨拶と乾杯ご発声に始まり、地域を超えた交流が続き、最後は福岡ソフィア会西村会長の音頭による「博多手一本」で締め。盛況のうちに散会となりました。



学位授与式&入学式

上智大学は3月25日（月）、東京・有楽町の東京国際フォーラムのホールAにおいて、2023年度の学位授与式を学部・学科別に午前と午後の2部制で開催し、ソフィア会は新たに約2,900人の新会員を迎えました。

式典はカトリック・イエズス会センターによる祝福でスタート。曄道佳明上智大学長が式辞を述べた後、学位記・修了証書の授与が行われ、各学部・研究科の代表が登壇して、それぞれ学位記・修了証書を受け取りました。

その後、アガスティン サリ上智学院理事長の祝辞に続き、ソフィア会の鳥居正男会長が「ウクライナや中東の戦争、気候変動、政治的分断や格差の問題など世界はさまざまな課題に直面する一方で、AIなどの進化でもものすごいペースで変化しています。皆さんが上智大学での学びを生かして社会に羽ばたき、持続可能な社会が実現するよう貢献してくれ

ることを心から願っています」と述べ、「旺盛な好奇心を持つこと、貪欲に学ぶこと、日本の外に出て違う文化に接し視野を広げることの3つをお願いしたい」と、卒業生にエールを送りました。

そして4月1日（月）には同じく東京国際フォーラムのホールAにおいて入学式が執り行われ、これにより約3,000人の現役学生が、ソフィア会の準会員となっています。



金祝祝賀会(1970年卒、 1971年卒、1972年卒)を開催

コロナ禍の収束を受けて、開催できずにいた1970年卒、1971年卒、1972年卒の卒業50周年を祝う金祝祝賀会を10月にそれぞれ挙行了しました。グリークラブOBによる合唱、上智大学体育会応援団による演舞や応援メドレーで盛り上がった後、肩を組んで校歌を歌うなど、懐かしい面々との再会を喜び合い、参加者は皆、楽しいひとときを過ごしました。



1970年卒、参加者：約300人



1971年卒、参加者：約240人



1972年卒、参加者：約230人

今年の4つの祝典

コロナ禍もようやく下火になってきた今年、卒業からの節目を祝う恒例の式典が河津桜が見頃を迎える2月24日に開催されました。卒業50周年(1973年卒)をお祝いする金祝には約300人が出席。式典は銅祝(2008年卒)と合同で行われ、会場には総勢450人ほどの卒業生が集まりました。式典後には金祝、銅祝に分

かれて祝賀会が行われ、同級生と久しぶりの再会の楽しい時間を過ごしました。さらに時間をずらしてルビー祝(1983年卒)と銀祝(1998年卒)の式典も開催されました。銀祝の参加者は200人超、ルビー祝の参加者は350人超と大勢のソフィアンが再集結。こちらも式典後の祝賀会は、とてもにぎやかな笑顔あふれる集まりとなりました。



金祝・銅祝合同式典



ルビー祝・銀祝合同式典

「キャリア支援 OBOG 交流会」 開催報告

2月18日(日)、キャリアセンター主催・ソフィア会後援の「OBOG 交流会」がソフィアンズクラブにおいて実施されました。コロナ禍を経て今回は4年ぶりの開催です。

学生は大学3年生を中心に各学部、大学院から62人の参加があり、卒業生は1999年から2021年卒業までの総勢8人が参加されました。

冒頭に3人の卒業生を対象にパネルディスカッションを行い、その後、学生対卒業生の個別グループごとに活発な意見交換がなされ、参加した学生はもちろん、卒業生の方々も、「学生さんに喜んでもらえた」「自分自身の気付きを得られた」という感想をいただくなど、双方満足度の高いイベントとなりました。



若手ソフィアン インタビュー

同窓会の大切なミッションの一つは、若いソフィアンの参画です。そこで、卒業10年以内の卒業生4人に、彼らの現状、思い、ソフィア会への要望などを伺ってみました。

いまいまみこ 今井舞眞子さん

2022年外国語学部フランス語学科
卒 (株)西武・プリンスホテルズ
ワールドワイド勤務



今井さんは総合職として入社し、最初の1年半は現場研修として各地のプリンスホテルのフロント、ベル、レストラン、宴会、ゴルフ場やスキー場の受付など、幅広い経験を数多く積んできた。そして昨年DX(デジタルトランスフォーメーション)チームに配属され、主に2つの業務に携わっている。1つ目は現場の業務効率化。その目的は効率化によって生み出された時間をお客さまの接客に充てることで顧客満足度を上げることにある。2つ目はお客さまのさまざまな情報をデータとして蓄積し、よりパーソナライズな接客に繋げる顧客関係管理システムの構築だ。これによってお客さまは国内外に展開するどこのプリンスホテルに滞在しても一人一人に合ったサービスが受けられるようになる。こうした仕事には、現場経験で得た多くの学びや今井さんが抱いた思いもヒントになっているという。

また、現在の仕事には、学生時代に学んだカトリックの精神や価値観が役立っている、と今井さん。「常に感謝の心を持つこと」「他者に寄り添い、考え、行動すること」「自分自身の力を他者のために最大限に生かすこと」これらは彼女の日々の生活の指針にもなっているそう。

「上智大学の特徴として、カトリックの学校であるということとはとても大きいと思います。AIの発展が進む中で、人としてどうあるべきかという価値観、物事に対

する考え方といったものが一段と重要になってきていると思うのです」

実は今井さんは現在ソフィア会の総務委員会の委員としても活躍してくれている。彼女にソフィア会について尋ねると、「それぞれの方面で頑張る卒業生たちが社会で少し疲れてしまったときに、ふと思い出して帰ってこられるホーム、心の拠り所みたいな存在になってくれたらすごく嬉しいです」という答えが返ってきた。

今彼女には「国や文化を超えて人の心に喜びや幸せを届けたい」という大きな夢がある。その延長線上には、大学で専攻したフランス語やフランスの知識を生かして、プリンスホテルをフランスに開業できたらという思いもあるそうだ。

今井さんをはじめ多くのソフィアンが夢の実現に励むとき、その心の拠り所となれるよう、ソフィア会はこれからも皆さんの意見に耳を傾けていきたい。

とみざわ まこと 富澤任さん

2021年総合グローバル学部総合
グローバル学科卒 株式会社電通勤務



富澤さんの現在の肩書はプロジェクトデザイン・プロデューサー。まずその具体的な仕事内容を伺ってみました。

「簡単に言うと、プロジェクトマネジメント。クライアントさんと制作スタッフの調整役です」

まだ入社4年目の彼にとって、クライアントの担当者も制作スタッフも、経験豊富で自分より年上の人が多いという。その中に入ってチームをまとめていくのはなかなか大変そうだ。そこで、学生時代に学んだことで現在の仕事に役立っていることを伺ってみた。

「(上智大学という)多様な人がいる環境でのチームビルディングを経験できたのが一番だと思います」

彼には学生時代、新入生対象のオリエンテーションキャンプに先輩ヘルパーとして参加した経験がある。当時総合グローバル学部は設立2年目ということもあり、

学部としてのオリキャンのノウハウがなかった。そうした状況の中で富澤さんは、何が新入生に求められているのかを考え、チームリーダーとしてノウハウの土台作りを励んだ。

「自分で働いて人に喜んでもらえるのが結構好きなので、いろいろな人に助けられながらやり遂げられたというのは印象的でしたね」

チームビルディングの経験はこれだけではない。ゼミでのグループワーク、サークルでの活動、さまざまな局面で彼はチームをまとめていくスキルを身に付けていった。

大学時代の大切な記憶のひとつとして、カナダへの短期留学も挙げてくれた。

「あまり会話ができず、友達に頼ってばかりですごく悔しかったです。でも、英語ができて当たり前という上智大学の環境にあったからこそそう思えたので、それはすごくよかったですね」

その挫折経験をバネにして、その後彼はさらに1年半ほどアメリカに留学することになる。そんな経験を経てきた彼に、社会人としての現在の心境を伺うと、

「楽しいですね。自分でもがむしゃらに価値を残して、その結果喜んでもらえるわけで。もちろん責任も伴うんですけど、すごく楽しいですね」

という、頑張り屋らしい前向きな答えが返ってきた。そして、ソフィア会にもとても有益なアドバイスを頂戴した。

「海外で働いている上智卒の方と出会う機会が少ないので、各国のソフィア会の方とオンラインで交流できる機会があれば、すごく話を聞いてみたいです」

おがさわら み ゆ 小笠原光優さん

2017年国際教養学部国際教養学科卒
PwCコンサルティング合同会社勤務

クライアント企業のさまざまな問題を解決するコンサルティング業務。その中であって小笠原さんは特に、カスタマートランスフォーメーションという顧客変革に関わる部署に在籍している。具体的には、クライアントのマーケティングに結び付く年間キャンペーンの策定、顧客管理システムの導入といったプロジェクトが日々の仕事だ。

学生時代に学んだことで今の仕事に役立っていることは？と伺うと、彼女は3つのことを挙げてくれた。1つ目は学生時代に学んだ文化人類学の授業で体験したエスノグラフィーという研究手法。これはフィールドワーク的に実際に調査対象地に赴いて、そこでの生活に密着して観察、分析するといったもので、マーケティングでの消費者調査につながるものがあるのだそうだ。



授業だけではなく、所属していたソフィアボランティアネットワークという、東北の震災復興支援がメインのサークルでも、現地に赴いて、そこで生活する人たちの話を伺ったり、農作業を手伝ったりという活動をしていた小笠原さん。現場の意見を吸い上げることの大切さを理解されている方だとお見受けした。

学生時代は個々の授業で課題が出されてペーパーワークに追われる毎日でもあったそうだが、その中でどの課題からこなしていくか作業に順序を付けて効率よくこなしていくというテクニックが身に付いたとも。これが今の仕事に役立っている2つ目。

そして3つ目は英語力。英語でコミュニケーションがとれるとなると、グローバル案件にアサインされやすいのだとか。授業で日常的に英語でプレゼンをしていたことが、大いに役立っているという。ただし実際に海外に出向いての仕事や海外赴任といった機会が日常的でないのが、ちょっと残念。

これからの目標を伺うと

「外資系コンサルタントで女性の管理職ってまだそんなに多くないので、そのロールモデルになれるように頑張っていきたい」

と話してくれた。ガラスの天井を打ち破って、キャリアアップを目指す小笠原さんにも注目だ。

最後に、ソフィア会に求めるものを聞いてみた。

「早慶に比べると上智は社会に出てから卒業生に出会う機会が少ないように感じます」

なので同窓生同士、例えば同じ業種の人たちが意見を交換できるような場があればありがたいという。

ソフィア会の2つの柱は「母校への貢献」と「会員相互の親睦」。これからはできるだけ敷居が低く、サークル感覚で参加できるような親睦スタイルがあってもいいのかもしれない。

くりむら ま ゆ 栗村真由さん

2017年法学部法律学科卒
株式会社NTTデータ勤務

株式会社NTTデータで中央官公庁のITコンサルティングに携わる栗村真由さん。法学部を卒業後、就職して7年目になる彼女は、2024年3月現在、官公庁の業務効率化やエンドユーザーのユーザビリティ向上などを目的とする、DX推進コンサルティングがメイン業務だ。

「法学部に進学したのは、社会貢献に興味があったからなんです。今の仕事も、最終的なエンドユーザーは国民の皆さまなので、そういう意味では昔からの夢を実現できている仕事と言えますね」

栗村さんの学生時代はとても密度の濃いものだったようだ。



「学科を超えて授業を受講したり、ハンガリーへ短期留学をしたり、学業面でも充実していたと思います。他方で、サークルやミスソフィアコンテストに参加したことで、ライブ運営や協賛企業との活動など、学外の方と接する機会も多く、さまざまなことを学びました」

学生時代の多様な経験を振り返って今思うのは、「まずは何でもやってみよう」というマインドが培われたことだと言う。チャレンジをして失敗してもそれはそれ。ピンチをチャンスに変えることもできるし、何もしないで後悔するより、何かした後に後悔するほうがいい——そんな考え方は、社会人になった今も大いに役立っているそうだ。

現在の勤務先は事業領域が広く、担当の顧客が変わるたびに新鮮な気持ちになれそう、という期待をもって選んだとのこと。

「IT企業は目に見える商材がない分、人材がすべて、

という価値観があるので、社員に積極的に投資してくれるんです。私自身、2022年にオンライン留学をさせてもらって、社会人になっても勉強をサポートしてもらっているのは本当にありがたいと思っています」

今後は官公庁、民間企業を問わず、顧客の要望に応え、その先にいるユーザーにもアプローチしながらサービスを共創していけるプロフェッショナルになりたい、と語ってくれた栗村さん。

「社会に出てから学生時代の活動をどう生かすかは人それぞれです。学生さんには、ステレオタイプにとらわれず、先輩の話なども参考にしながら、自分なりの進路を見つけていっていただきたいですね」

栗村さんをはじめ若手ソフィアンは、現役の学生とソフィア会をつなぐ貴重な架け橋。これからも学生たちだけでなく、ソフィア会にも意見やアイデアを届けてくれる存在として期待したい。

第8回「ソフィアン国家公務員と 話そう～日本、世界で活躍する 先輩たち～」を開催

12月2日、2号館にて国際関係研究所主催・ソフィア会共催のもと第8回「ソフィアン国家公務員と話そう～日本、世界で活躍する先輩たち～ まだ間に合う総合職」を対面にて開催。今回は初の土曜日開催にもかかわらず約30人の学生が参加しました。

基調講演では、藤崎一郎元駐米大使（元本学特別招聘教授）が、「国家総合職は社会全体に関わるさまざまな業務に従事でき、試験を通った人には公平な機会がある」と語りました。

その後、卒業生の小野健外務省欧州局ロシア課長（1997 法国）、北川幸恵経済産業省資源エネルギー庁電力・ガス事業部原子力立地・核燃料サイクル産業課課長補佐（2018 法国）、山本愛外務省国際法局国際法課外務事務官（2022 法法・23 年入省）、特別ゲストとして他大学出身の高柳啓太外務省大臣官房人事課課長補佐、

安田佑樹防衛省大臣官房秘書課防衛部員、今年度の国家総合職合格者で在学中の中野義久さん（2023 年度国土交通省国家総合職内定者、院理機）、花鳥盛事さん（2023 年度法務省矯正局国家総合職内定者、総心）らによるパネルディスカッションを実施。後半は、ソフィアンズクラブで藤崎元駐米大使、パネリスト、学生が4グループに分かれてラウンドテーブルを行い、活発に意見を交換。終了後も卒業生・ゲストに熱心に話を聞く学生の姿が見られました。



知花くららさん講演会

上智大学110周年の記念行事の一環として、12月4日、文学部卒業生でモデルの知花くららさんが本学で講演を行い、学生・卒業生など約170人が参加して大きな盛り上がりを見せました。

講演タイトルは「世界を旅して見てきたことは」。ミスユニバース世界大会で準グランプリを獲得されるま

での日々や獲得後の苦悩、元国連世界食糧計画（WFP）日本親善大使としての活動内容や当時の思い、妊娠中のリスクリングへの挑戦など、メディアでの華々しいご活躍の裏で知花さんも悩み試行錯誤をされていることを包み隠さずに語ってくださいました。

リスクリングに関しては、子育てをしながらの大学での学び、妊娠中の二級建築士の受験など、学業・仕事・子育てを同時にこなしたエピソードを披露してくれま

した。その多忙な生活ぶりを聞いた参加者からはどよめきが起きましたが、知花さんは多忙であっても学びの時間を持てたことは幸せだったとうれしそうに教えてくれました。

知花さんは、自身にとっての学びを「世界の見方を身に付けること」「自分の“好き”に誠実になること」「自分を耕すもの」とし、「その土に知の大輪の花が咲く」の言葉を胸に秘めて学び続けていると述べて、講演を締めくくられました。



第32回コムソフィア賞 作家の今野敏さんが受賞

1月25日、ソフィア会とマスコミ・ソフィア会が共催し上智大学が後援する、第32回コムソフィア賞の授賞式と記念講演会が2号館17階の国際会議場で行われました。受賞者は作家として活躍されている今野敏さん(1979文新)。会場には80人近いソフィアンや学生が参加しました。

金子達夫ソフィア会事業企画委員会委員長の挨拶、永井敦子上智大学副学長の祝辞に続いて鈴木真理子コムソフィア賞選考委員から選考経過の報告があり、戸川宏一前ソフィア会会長から賞状と副賞(元内閣総理大臣の細川護熙さん制作の「青白釉向付」)が贈呈されました。

記念講演「作家の生活」で今野さんは、上智大学在学

中に『怪物が街にやってくる』で問題小説新人賞を受賞された当時の学生生活の思い出を話しながら、「自分の毎日の規則正しい作家活動の基は、新聞学科在学中の論文作法の時間に、教室の黒板に出されたテーマについて書いていたことが影響している。若者よ、携帯電話のスイッチを切り、創造力を養え」と語りました。

記念講演会後には2号館5階の教職員食堂で懇親会が開催され、今野さんを囲んで和やかで楽しい歓談の時間を過ごしました。



第5回ザビエル杯日本語スピーチ コンテストを開催

11月18日、第5回ザビエル杯日本語スピーチコンテストが開催されました。2019年に第1回を対面で行った後、同コンテストはコロナ禍を経て今回は4年ぶりの対面での実施となりました。今回のテーマは「10年後のなりたい姿」。応募者40人の中から、書類選考にて13大学12か国18人の留学生が登壇し、未来の夢や希望を語りました。コンテスト後にはソフィアンズクラブで懇親会が行われ、登壇者や応援の各大学の先生方や友人、上智大学生が参加して温かな交流の場となりました。

コンテストの審査委員長は鳥居正男ソフィア会会長。そのほかの審査員に永井敦子上智大学副学長、小坂文乃氏(立教大学校友会副会長・松本楼社長)、日比谷潤子氏(前ICU学長・ソフィア会副会長)、黒水則顯氏(元WOWOW代表取締役副社長・相談役)を迎え、和やかな中にも的確な質疑応答を経て入賞者が決まりました。

●入賞者は次のとおり。

- 1位 ブ・カエイさん(昭和女子大学 中国)
- 2位 モンドル・プリティ・ラニさん(獨協大学 バングラデシュ)
- 3位 アイダ・ワークさん(国際基督教大学 フィンランド)
- 審査員特別賞 ホウハクさん(青山学院大学 中国)
- 上智大学賞 リュウ・シンさん(早稲田大学 中国)
コウ・エンバイさん(上智大学 中国)
- 東芝賞 デン・シランさん(東京外国語大学 中国)



2023ソフィアンズカップ ゴルフ大会を開催、145人が参加

9月25日に第28回ソフィアンズカップゴルフ大会が開催されました。今回の会場は、埼玉県入間市にある「狭山ゴルフ・クラブ」。晴天で絶好のゴルフ日和の中、2016年に日本オープンゴルフ選手権が開催され、2027年には日本女子オープンゴルフ選手権の会場予定の名門コースで145人のソフィアンがプレーを楽しみつつ、懇親を深めました。

コロナ禍が収束し切っていないことや、インフルエンザの感染拡大期であることを勘案し、残念ながら今大会でも表彰式や懇親会は中止となりました。

●主な成績は次のとおり。

優勝 水村栄 (1975 理機)

準優勝 杉山昌孝 (1977 経営)

なお、ショートホールではチャリティーを実施。226,000円を9月27日に上智学院ソフィア連携室に「ソフィア未来募金」として寄付しています。

All Sophians' Christmas

12月9日、「オールソフィアンのクリスマス (ASC) 2023」が四谷キャンパスで開催されました。久しぶりに行動制限のないASCで、約350人の方にご来場いただきました。

第一部「クリスマスのいのり」では神父さまとともに祈り、第二部「クリスマスのつどい」では在校生、卒業生の素晴らしい演奏をともに楽しみました。同時に、今なお厳しい状況にある方々が世界の至る所にいらっしやることを忘れてはいけなく深く思う時間でもありました。私たち一人一人ができることは微力かもしれませんが、上智のFor others, With othersの精神を持ち、想い祈ることを続けていきたいと思えます。

参加していただいたさまざまな団体のチャリティブースの収益は、経済的困難にある学生の修学支援としてソフィア未来募金への寄付や、各団体が支援している活動の支援に使われます。



「第5回 子育てを語ろう by Sophians」

12月9日、「第5回 子育てを語ろう by Sophians」が開催され、7家族21人のソフィアンがソフィアンズクラブを訪れました。ご夫婦でのご参加、0歳～小学校中学年のお子さまのご参加、聖母大学卒業生や、お母さま、お父さまそれぞれのご参加もあり、とてもにぎやかで温かな時間となりました。

前半の子連れ移住体験セミナー『マレーシア子連れショートステイ1 month 体験談』では、講師の実体験に基づいてフィンランドとマレーシアの教育環境を比較紹介しました。セミナー終了後には参加者から次々と質問が挙がり、グローバルな視点から我が子の育ちを見つめる保護者としてのソフィアンの姿がありました。

発達サポーターによる子育てQ&Aでは、癩癩に対する栄養学的アプローチと心理学的アプローチ、イヤイヤ期と自我の芽生えなどについて講師が回答しました。

クリスマスにぴったりのミニフラワーアレンジメント体験、バルーンアート、お絵かきコーナーなどで楽しみながら異年齢での交流を深めるお子さまたちの姿も印象的でした。



ソフィアの広場

海外ソフィア会

ミュンヘン・ソフィア会

開催日:9月24日

世界最大のビール祭り、オクトーバーフェストの真っ最中。秋晴れの下で市内の中華レストランにソフィアズとその家族 15 人が集い、美味しい料理で楽しく和やかなひとときを過ごしました。



フランス・ソフィア会

開催日:10月13日

ローマのメディチ館館長夫人、画家・陶芸家・彫刻家のクロソフスカ・ド・ローラ節子さん（外仏）のパリ6区のご自宅にて開催。「ユネスコ平和のためのアーティスト」から未来に元気をいただく会となりました。



UAEソフィア会

開催日:10月29日

NAJAH Exhibition (UAE 最大の高等教育進学・留学フェア) の日本館での上智大学ブース出展のため来訪された上智大学職員お2人の歓迎会を UAE アブダビにて開催。闊達な意見を交わし大いに盛り上がりました。



トロント・ソフィア会

開催日:11月30日

大石正子会長のご自宅のパーティールームに現役留学生を含む 12 人のソフィアが結集。和菓子の差し入れありの持ち寄り料理の数々とピアノ伴奏付きの校歌斉唱で、素晴らしいネットワークの場になりました。



ハンブルク・ソフィア会

開催日:12月14日

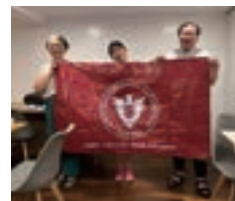
小さなハンブルク・ソフィア会ですが、毎年夏と冬、母校を語る会を開いて親交を楽しみます。今回は夏のBBQにソフィア会記念ワインが、冬の忘年会にハンブルク大学留学中の現役生さんが特別参加しました。



ヤンゴン・ソフィア会

開催日:10月13日

コロナ禍、そして政変があり長らく開催ができていなかったヤンゴン・ソフィア会の食事会を約4年ぶりに開催。在住者が減ってしまったミャンマーですが、その分、親密に情報交換を行うことができました。



アイルランド・ソフィア会

開催日:10月14日

ダブリンの隣にあるキルデアの Burtown House & Gardens に足を延ばし、秋晴れのランチ会を実施。施設内の広々とした庭園を散策し、色づくアイルランドらしい美しい自然や地元の料理をゆっくり堪能しました。



カンボジア・ソフィア会

開催日:11月4日

シエムリアップのアジア人材養成研究センターにて開催。アンコール・ワット西参道完成式典ご出席のアガスティンサリ理事長らが本学大学院地域研究専攻で学位を取得した元カンボジア人留学生と旧交を温めました。



シドニー・ソフィア会

開催日:12月8日

忘年会に押し寄せた南半球初夏の 41℃ ヒートウェーブ。共にやってきたのがさまざまな業界で活躍する 4 人の新メンバーたち。各々で持参した自慢の豪州ワインと YAYOI レストランの絶品の和食を堪能しました。



リマ・ソフィア会

開催日:1月3日

リマ・ソフィア会はしばらく活動休止状態が続いていましたが、ようやく複数のソフィアが集まり、2024 年新年会を開催しました。今後も会員を増やして定期的に集まっていきたいと思えます。



サンパウロ・ソフィア会

開催日:1月19日

サンパウロ市内のイタリア料理店で2024年新年会を開催しました。当地には上智大学からの留学生も多く、学生、後輩諸君は社会人との交流の場として当会を積極的に活用してもらいたいと思います。



デュッセルドルフ・ソフィア会

開催日:1月20日

市内の人気和食レストランに集まっておいしい日本食を囲みながら楽しいひとときを過ごしました。新会員や四谷からの留学生、デュッセルドルフ大学から上智に留学していた学生の参加があり、例年とは少し違った雰囲気の集まりとなりました。



ワシントンDCソフィア会

開催日:1月24日

ワシントン市内のアメリカ料理レストランBlackfinn DCで、ワシントンDCソフィア会のハッピーアワーが開催されました。当日は幸い寒さも和らぎ、おいしいお酒や料理を囲んで和気あいあいとした雰囲気の中で交流を深めることができました。



英国ソフィア会

開催日:2月15日

恒例となりつつある日本居酒屋東京レトロさんを貸切り、冬の親睦会を開催しました。ひじき煮から海鮮サラダ、締めめのナポリタンまで、完璧な日本の居酒屋メニューをこの夜も堪能。同じ学び舎で過ごした者同士、3時間以上盛り上がった次第です。



ローマ・ソフィア会

開催日:2月24日

上智カトリック・イエズス会センター主催2023年度「ROMA IGNATIANA—ローマにイグナチオの足跡を訪ねて—」巡礼団ご一行30人が来伊。交流会に、ローマ・ソフィア会から6人が参加させていただきました。



ウクライナ・ソフィア会

開催日:3月6日

ワルシャワで、ウクライナ・ソフィア会メンバー3人とポーランド・ソフィア会メンバー1人で、合同ソフィア会を開催しました。このうち1人が3月末に日本に帰任することとなり、彼の送別会となりました。



ハノイ・ソフィア会

開催日:3月9日

3月で帰任するソフィアンの送迎会を兼ね、総勢14人でハノイ・ソフィア会を開催しました。石井新会長(2005理電)による第1回目のソフィア会は、おおいに盛り上がり、17時からの達人という異名に全員が納得。



国内ソフィア会

四街道・佐倉ソフィア会

開催日:9月2日

DIC川村記念美術館庭園内のイタリアンレストラン「Belvedere」にて第10回総会を開催。3卓のテーブルに、各数人の参加者が来賓の理事長、ソフィア会会長、組織委員会会長を囲む楽しい懇親会となりました。



富山ソフィア会

開催日:9月2日・11月3日

「グランテラスホテル富山」にて開催。石川ソフィア会や滋賀ソフィア会からの参加者もあり、16人で楽しい時間を過ごしました。さらに11月3日(金・祝)には『まひるの女子会』なる企画を開催しました。



鹿児島ソフィア会

開催日:10月28日

「第12回地域ソフィア会全国大会2023」を9月に無事に鹿児島で開催できたことに、吉富会長の感謝の言葉で締められた報告会。続く懇親会は2次会に24人中19人が参加する、思い出話の尽きない会となりました。



とちぎ帯広ソフィア会

開催日:10月28日

帯広市内ふじもりにおいて開催。ソフィア会のホームページから問い合わせでの参加もあり、過去最多の18人、昭和39年卒から令和2年卒まで過去最も広い年齢層が結集。昔話や近況報告などで盛り上がりました。



山口県ソフィア会

開催日:10月28日

山口市にて山口県ソフィア会が開催されました。コロナ禍明けで久しぶりの再会だったこと、若い男女の参加も多かったことから、たいへん盛り上がりました。



日野ソフィア会

開催日:10月28日

15回目を迎えた今回は、川崎組織委員長より、ソフィア会から大学や留学生への寄付や代議員会など上智大学の今について伺いました。さらに参加者の近況報告、ソフィアンの手品披露で会は大盛況でした。



さいたまソフィア会

開催日:11月4日

大人の遠足(第8弾)は「徳川家康に仕えた2人の武将西尾吉次と伊奈忠次のゆかりの地を巡る」。秋晴れの好天の下、ソフィアンとその知人総勢27人が集い、伊奈・上尾の約2万歩の長距離を元気に散策しました。



函館ソフィア会

開催日:11月12日

道南のソフィアン13人が参加(内3人は新会員)。函館のベイエリアにある会場「港の庵」は、明治35年に建てられた元海産商の店舗。函館市の都市景観賞を受賞した趣のある建物で美味しい料理をいただきました。



埼玉西部ソフィア会

開催日:11月12日

狭山市民交流センター研修室にて総会を、創彩遊膳“凜”にて懇親会を、26人で対面にて開催。ソフィアンズトークは五十嵐会長にご登壇いただき、卒業後創刊された文集“渦流”から酒造りのお話を伺いました。



千曲川ソフィア会

開催日:11月18日

ソフィアのルーツに迫る菅原神父のスピーチ「ローマから見た上智大学」、長野県ゆかりの上智大学の先生方の紹介、「アルマ・マーテル」の大合唱で、1962年～2021年卒36人の参加者が絆を強く深めました。



滋賀ソフィア会

開催日:11月18日

総会ではドローン空撮による最新映像で発展と変貌の続く母校の近況を紹介、懇親会ではビンゴゲーム方式で全員が近況報告。守山市内の料亭「魚和」で年配者の多い参加者18人が豊かな人生経験を共有しました。



四国ソフィア会

開催日:11月18日

四国四県(香川14人、愛媛6人、徳島4人、高知1人、東京からのご来賓2人)計27人出席の初めての四国ブロックソフィア会。欠席者も応募可の「ソフィア川柳」には30句が寄せられ、投票によるランキングで盛り上がりました。



岩手ソフィア会

開催日:11月19日

鳥居ソフィア会会長、川崎組織委員長、八戸ソフィア会の方々をご来賓にお迎えし、盛岡市内で4年ぶりの対面開催が実現。3つの活動方針(透明性、多様性、身の丈に合った運営)などをお話しいただきました。



文京ソフィア会

開催日:11月25日

元メンバー松田憲明さん(2007年経・営卒)がマスターを務める四ッ谷「カフェ・アマルフィ」にて開催。幅広い年代の計28人が美味しい料理とソフィア・ワインに舌鼓を打ち、尽きぬ話題で盛り上がりました。



岡山ソフィア会

開催日:12月3日

総勢30人弱の1963年～2015年卒ソフィアンが後楽ホテルに4年ぶりに結集。2Fのレストランバ(TOMOE)で美味しいフランス料理をいただきながら大学時代の思い出やコロナ禍の近況などを語り合いました。



八戸ソフィア会

開催日:12月9日

2年後に控えた全国地域ソフィア会盛岡岩手大会。ご来賓にお迎えした千曲川ソフィア会会長の杉浦様から信州大会の折のコホストを行った経験を伺い、周辺から主催地域を支える姿勢・方法等について学びました。



中野ソフィア会

開催日:12月21日

総勢19人が参加。初参加の若いメンバーも気楽に寛げる会になりました。酒宴のあとの2次会はカラオケに移動し、皆さんの美声を聞くことができました。欠席者からも次回を待ち望む声が寄せられています。



関西ソフィア会

開催日:12月22日

コロナ禍前は毎年恒例だった忘年会を、4年ぶりに西天満のチルコロで開催。初参加・特別参加含めて30人が集い、特に余興のゲームなどはなくとも、歓談メインのあつという間の楽しい3時間となりました。



アルプス・ソフィア会

開催日:2月4日

松本市のホテルモンターニュにて、過去最高の32人が出席して今年度総会及び懇親会を開催しました。山崎会長の後を引き継ぎ、花村恵子新会長が選出され、新規会員の勧誘に注力する今年度方針が示されました。



各種ソフィア会

ニッセイソフィア会

開催日:9月29日

ソフィアズクラブ（上智大学キャンパス内 卒業生ラウンジ）で、日本生命保険相互会社の上智大学OG・OBによる「2023年度ニッセイソフィア会」を開催。当日は約40人が参加し、絆を深めました。

ソフィア・森のプロジェクト会

開催日:10月1日

震災の遺構が残る南相馬にて前回に続き植樹イベントを行う。ソフィア祭実行委員会の学生11人、計16人で広葉樹の苗木を1人20~30本ほど植えました。10年以上かけて将来の津波に備える緑の防潮堤を築きます。



ソフィア・ギターアンサンブルOB会

開催日:11月22日

上智大学11号館419室にて開催。コロナ後新入部員が加わり通常活動に。プロのギタリストによるクラシックギター基礎演奏指導や、クラシックギター3本の寄贈など、OBが在校生を支援する活動を継続して実施しています。



ワンダーフォーゲル部OB会

開催日:9月30日・10月1日

例年より少ないとはいえ、20代から80代のOB・OG38人および現役部員7人が富士山麓・山中湖畔の合宿所に集合。久しぶりにキャンプファイヤーを囲み大いに歌い、そして語らい夜更けまで盛り上がりました。



上智大学体育会アイスホッケー部OB会

開催日:11月19日

秋大会入替リーグ戦最終戦（vs 駒澤大学）が行われました。試合結果は、4-3で上智大学の勝利。秋大会Division II優勝により、見事春大会・秋大会制覇。上智大学アイスホッケー部史上初の快挙です。



SNSソフィア会

開催日:11月22日

参加者は9人。こぢんまりとした集まりでしたが、個室からあふれんばかりのにぎやかな会話が広がりました。飲み放題のコースで盛り上がることこの上なし。次回はぜひ参加したいと多数の声が寄せられています。



麻布ソフィア会

開催日:12月2日

2023年締めめの37回目の会を六本木で開催。中央アジアの旅から駆けつける人も。未来のソフィアへの希望や、米国・ウクライナ・イスラエルなどのグローバルな国際情勢について語り合いました。



上智不動産ソフィア会

開催日:12月6日

街路樹のイルミネーション輝く表参道に面するスタイリッシュなホテルにてクリスマス会を開催。参加した36人が幹事の準備したグッズで思い思いの仮装を楽しむにぎやかなパーティーとなりました。



NEC宇宙ソフィア会

開催日:12月8日

忘年会と来月からアメリカに留学する仲間の壮行会も兼ね、府中事業場内府中クラブに9人が結集。2人の若手も初参加、とても華やかな会となりました。留学から職場に復帰される3年後を楽しみに待っています。



ニューヨーク東京会

開催日:12月10日

今年は少し趣向を変えて、会員で今や「そば打ち名人」となった渡辺利一さん(1971外英)の会場アレンジと名音頭で、銀座の人気イタリアンをチョイス。多くの経歴をもつ新会員も加わり、盛り上がりました。



メディア&エンタテインメントソフィア会

開催日:12月12日

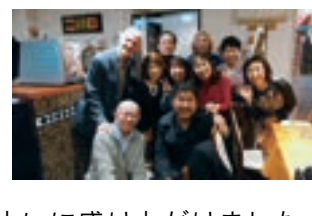
会場は虎ノ門のAL ROYAL GARDEN。総勢40人弱のメディア・エンタテインメント業界で働く仲間たち、M映画プロデューサー、配信プラットフォーム各社、新聞社などから、多彩な仲間が集まりました。



SPEECCソフィア会

開催日:12月半ば

顧問のJohn先生を含め総勢10人で、にぎやかな会となりました。初顔合わせメンバーの自己紹介、近況報告、看護、音楽(ビートルズ)、歴史(ルネサンス)の話題でも大いに盛り上がりました。



ソフィアスキークラブ

開催日:12月16・17日

直前の降雨と季節外れの暖かさでコース作りが進まず、滑走できたのは中斜面1コースのみ。数年ぶりに大変なコンディションでしたが、新たに卒業生2人を会員に迎えることができ、来年に期待します。



上智大学管弦楽団OB会

“思い出のベルリン 1974”を開催します。日時:2024年9月22日(日)午後2時~/場所:ソフィアズクラブ(ソフィアタワー、6号館6階)を予定/参加費:6千円を予定(軽食、飲み物を含む)/問い合わせ:shint@icloud.com



学部・学科同窓会

ポルトガル語学科同窓会

開催日:11月5日

4年振りの恒例忘年会では昨年秋に瑞宝中授章を受勲された堀坂浩太郎名誉教授の記念講演会も同時開催。リアル形式での開催と堀坂先生人気により、現役学生を含む60人超の幅広い年代の同窓生が集いました。



史学科同窓会

開催日:11月25日

16回目となる秋の見学会を開催。新木場駅前に集合し、木材・合板博物館を訪問、その後夢の島公園・夢の島熱帯植物館へ。日差しにも恵まれ海沿いならでの広々とした街並みや公園を散策することができました。



2023年3月に帰天された名誉教授中野記偉先生と、これまでに亡くなられた英文学科同窓会の会員のための追悼ミサが、関根悦雄神父(1972文英卒)の司式のもと、クルトウルハイム聖堂で行われました。



法学部同窓会主催による第5回「音楽の夕べ」を学内11号館7階704号教室で開催しました。今回は、本学アカペラサークル“L'arbre de harmonie”の現役部員に出演いただき、8グループのライブを楽しみました。



追悼

通知を頂いた方々のお名前と卒業年次・学部学科を掲載し、故人のご冥福をお祈りするとともに同窓生各位にお知らせいたします。

2023年10月~2024年3月届出(敬称略)

卒年	学科略称	氏名
1945	文哲	河野 亨雄
1946	専経	島 佳節生
1948	経経	小山 純生
1948	専経	三田 悦男
1949	専新	上滝 振一
1951	文哲	田川 茂
1951	文独	高橋 竜夫
1954	文英	長田 春男
1954	経経	伊東 清隆
1956	文新	黒山 茂英
1957	経経	澤 尚男
1958	文独	田崎 真也
1958	経経	服部 實
1958	経経	瀬口 静夫
1958	聖母	笠原 洋子
1959	文新	添田 登
1959	経経	中川 久雄
1959	経商	岡 秀治
1959	外英	石崎 勝美
1959	聖母	沖 三好
1959	聖母	川口 一江
1960	文英	竹島 久子
1960	外英	廣澤 満興
1960	外西	原 賢治
1961	文独	落合 一隆
1961	文新	神保 健児
1961	法法	疋田 勝三郎
1961	法法	渡辺 榮三郎
1961	外西	戸田 正一
1962	外英	中村 隆
1962	外英	土屋 哲朗
1962	外英	福崎 久一
1963	文英	斎藤 幸男
1963	法法	瀬戸 信之
1963	経経	生雲 尚一
1963	経経	岩田 俊夫
1963	外独	野村 昇史
1964	文哲	永山 直人
1964	文新	田中 宏
1964	法法	国吉 一夫

卒年	学科略称	氏名
1964	法法	将司 悦央
1964	経経	小暮 桂介
1964	外独	水越 住夫
1964	外西	涌井 建助
1964	聖母	牧山 繁代
1965	経経	榎原 秀樹
1965	外仏	小林 淑子
1966	文独	山本 岩生
1966	法法	瀧 三樹雄
1966	経商	深澤 彬
1966	理物	丸野 六雄
1966	理物	中島 秀忠
1966	理化	乾 吉佑
1967	文独	仙田 照子
1967	法法	長沼 孝一郎
1967	法法	矢野 義男
1967	経経	小林 久男
1967	外西	唐澤 圭子
1967	理電	熊須 宗距
1967	理物	萱原 惇
1968	文新	金森 朝子
1968	法法	大木 章
1968	外独	井上 一平
1968	理物	棚橋 亨
1968	聖母	花田 悦子
1969	理機	田中 泰彦
1970	文英	荒川 義久
1970	文英	大平 純子
1970	法法	伊古田 正之
1970	法法	池田 昭
1970	外西	石井 亘
1971	文独	安藤 文子
1971	経営	鈴木 清美

卒年	学科略称	氏名
1971	外英	星野 哲二郎
1973	法法	宮沢 治海
1973	理数	斉藤 友克
1973	理物	岩崎 敬
1974	法法	松田 章
1975	法法	安子島 利貞
1975	経営	杉山 淳
1976	文英	神田 夫佐子
1977	文英	瀧塚 孝子
1977	外独	田宮 友子
1978	理物	宮尾 雅文
1979	経経	白石 久已
1980	経経	石合 仁
1981	文英	山本 由美子
1982	文国	上念 薫
1982	院前文仏	藤田 イツ子
1983	文独	伊藤 晴友
1983	法法	中川 清一
1984	法国	渡辺 えり子
1984	院前文英	村田 和恵
1984	院後文英	近藤 恭子
1986	法法	森 正文
1987	神神	田端 信二
1987	文仏	中杉 千春
1988	理化	田中 温子
1989	文新	大西 友子
1990	神神	和久田 直子
1996	聖母	高木 静
1997	理機	溝内 晶
1998	文史	中村 聡
2000	比比	佐藤 勝
2005	外独	市川 登喜

教員訃報(2023年秋~2024年春)

※敬称略

11月10日	間島 理	上智大学元専任教員(旧理工学部機械工学科)
12月2日	東野 妙子	上智大学元専任教員(旧聖母大学看護学部看護学科)
1月26日	パブレニコ・ガリーナ	上智大学元専任教員(外国語学部ロシア語学科)
2月4日	ロバート・ディーターズ	上智大学名誉教授(旧理工学部電気電子工学科)
2月15日	濱田 壽一	上智大学名誉教授(経済学部経済学科)



ソフィア会維持会費（運営協力費）について

ソフィア会は、最終年次の学費納入の際に一括して納める「ソフィア会終身会費」とは別に、卒業後に任意で納めて頂く「ソフィア会維持会費（運営協力費）」により運営されております。税制上の優遇措置はありませんが、ソフィア会の各活動に対して迅速かつ機動的に充当させていただきます。学部・学科同窓会、クラス、クラブ、サークルなど、団体での納入も受け付けております。

●「ソフィア会維持会費（運営協力費）」の単位

原則は1口3,000円となっておりますが、たとえ少額でも大歓迎です。

●用途

- ・会員相互の親睦活動
ASF・ASC・講演会等のイベント、会報誌の発行、ソフィアズクラブの運営など
- ・母校への貢献活動
ソフィア会奨学金の給付、学生の課外活動支援、母校の教育研究活動への支援等

●納入方法

1. 銀行振込

- (1) 三菱UFJ銀行 / 四谷支店 (店番 051) 普通 0410321 口座名義: ジョウチダイガクソフィアカイ
 - (2) 三井住友銀行 / 麹町支店 (店番 218) 普通 5139304 口座名義: ジョウチダイガクソフィアカイ
 - (3) ゆうちょ銀行 / O-9 (ゼロイチキュウ) 店 (店番 019) 当座 0336818 口座名義: ジョウチダイガクソフィアカイジカイヒ
- 「卒業年（西暦）」と「卒業学部名の漢字一文字」をカタカナで、お名前（カタカナ）の前にご記入ください。
ご記入例: 2001年経済学部ご卒業の紀尾井一郎さん → 2001ケイ・キオイイチロウ

2. 郵便振込

ソフィア会事務局までご連絡ください。郵便局専用の「払込取扱票」を、お送りいたします。

3. 自動引落し（年払い制）

ソフィア会事務局までご連絡ください。「預金口座振替依頼書・自動払込利用申込書」をお送りします。
毎年12月6日にお届出の金融機関口座から指定金額が自動引落としされます。金額は、3,000円、5,000円、10,000円のいずれかをご指定ください。

お問い合わせ

上智大学ソフィア会事務局
TEL 03-3238-3041
E-mail: info@sophiakai.gr.jp

会員番号がわかりの方は通信欄にご記入ください。

02 東京		払込取扱票										通常払込料金加入者負担			
口座記号番号												金額		千 百 十 万 千 百 十 円	
0 0 1 7 0 1 3 3 6 8 1 8												※			
加入者名 上智大学ソフィア会維持会費												料金		備考	
フリガナ氏名				フリガナ旧姓				卒年(西暦)		学部		学科			
住所 〒												電話番号 ()			
電子メールアドレス															
通信欄												日		附	
<input type="checkbox"/> 匿名希望 (レを付してください)												会員番号			
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) (承認番号 東第49663号)												印			
これより下部には何も記入しないでください。															

各票の※印欄はご依頼人において記載してください。

切り取らないでお出ください。

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	0 0 1 7 0 1 3 3 6 8 1 8										通常払込料金加入者負担	
加入者名	上智大学ソフィア会維持会費											
金額	※											
ご依頼人	おなまえ ※											
料金	日 附 印											
備考												

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

この受領証は、大切に保管してください。

ソフィアズ DC カード WEB 入会のご案内

ソフィア会では三菱 UFJ ニコス株式会社と提携して「ソフィアズカード」を発行しています。

加入対象は、ソフィア会会員とそのご家族、準会員（就職内定者）、上智大学教職員。

このカードを利用すると、カード会社から利用代金の一部がソフィア会に還元されます。

個人向けカードと併せて、法人や個人事業主を対象とした三菱 UFJ カード ビジネスもご用意しています。

大学と現役学生支援のため、ぜひソフィアズカード、ビジネスカードにご加入ください。

ソフィア会 HP から入会が可能です。右記 QR コードよりお申込みください。



ソフィアズ DCカード
(一般)

年会費1,375円(税込)



三菱UFJカード ビジネス
(ゴールドプレステージ)

年会費11,000円(税込)

(今なら初年度無料)



海外ソフィア会ハノイ大会開催のご案内

今年はベトナムのハノイにおいて、海外ソフィア会を下記の要領で開催することが決定いたしました。皆様のご参加をお待ちしております。

テーマ： Re-connecting in Vietnam
ベトナムの過去・現在・未来

開催日程：2024年9月14日(土)～16日(月)
オプションツアー参加の場合は17日(火)まで

大会開催日：2024年9月15日(日)

開催場所：ベトナム社会主義共和国 ハノイ市郊外のシェラトン・ホテル・ハノイ

大会内容：

- ① 暁道佳明学長、アガスティン サリ理事長による上智大学の現状及び方針等に関するご講演
- ② 海外在住ソフィアンによるパネルディスカッション、情報交換など
- ③ ベトナムの文化と芸能などを学び楽しむイベントなど

ご参加にあたっての応募方法やその他詳細につきましては、後日ホームページ上でお知らせします。

(ご注意)

・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。

・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。

・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。

・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。

・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。



この場所には、何も記載しないでください。